

2  
|  
3 年頭のごあいさつ4  
|  
7 特集  
私のまちのコミュニティバス8  
|  
9 みんなの広場10  
|  
11 ほがらかページ12  
|  
13 スポーツ

14 教育と文化

15  
|  
21 インフォメーション暮らしのチャンネル  
22 22-26 お知らせ・募集  
| 27 こんにちは図書館です  
29 28 保健だより  
29 市民相談ほか30 輝け！イマリフェスタ  
編集室から  
人の動き**あけましておめでとーございませう  
市民の皆様におかれましては****希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます**

昨年、伊万里港が昭和42年に国際貿易港としての指定を受け50周年の節目の年であったため、記念シンポジウムや『伊万里みなと祭り2017』を開催しました。

シンポジウムでは、伊万里港の開発を掛け声に大同団結して2町7村の合併により誕生した伊万里市の生い立ちに触れることができました。

タイムカプセルの開封に50年の時代の流れを目の当たりにし、また、みなと祭りでの市民の皆様の感動の言葉を耳にしたとき、私は、かつては焼き物の積み出し港として繁栄した伊万里港が、石炭の積み出し港、工業港、そして今日では国際物流港として、その姿を変えながら伊万里市の発展を支えてきた道筋を振り返り、先人たちの並々ならぬ努力に感謝するとともに、今日まで脈々と続く歴史の深さと、それを次の世代へと引き継いでいく責任の重さを改めて感じさせられました。

中国・大連市との友好交流も30周年を迎えました。50名を超える市民訪問団の派遣や小・中学生のスポーツ・文化交流などにより、友好関係をさらに深めることができました。

# 伊万里市に

今月の表紙



血潮も燃え上がる猛々しい攻防。二里町大里の神原八幡宮で『取り追う祭り』がありました。南北朝時代に戦に敗れて落ち延びた武将が、再起を図って火中訓練を行ったことが、祭りの発祥だと伝えられています。【8ページに関連記事を掲載】





## 平成30年 年頭のごあいさつ

伊万里市長 塚部 芳和

また、市民の皆様への安全・安心の確保については、最重要課題として取り組んでおり、原子力災害や自然災害の発生時に迅速に情報を伝達するための防災行政無線は、市内全域への乗年度の設置完了に向け着実に整備を進めています。

さて、平成30年は、進行中の大規模なプロジェクトがその姿を現すことから、にぎわいや雇用の創出により市民の皆様への活力あふれる伊万里市づくりへ、次の一歩を踏み出す年したいと思います。

西九州自動車道の伊万里東府招インターチェンジが開通し、観光誘客の主要なターゲットである福岡都市圏から市街地までのアクセスがさらに向上します。

また、市民会館付近の松島嶺地区で工事が進んでいる都市計画道路大坪木須線が開通します。世界各地から集まったコンテナ貨物が国道204号バイパスから大坪バイパス、松浦バイパスを経て、武雄市若木町に完成する若木バイパス、あるいは昨年11月に開通した女山トンネルを利用して、九州自動車道から九州一円へと運ばれていく物流体制が強化されます。

このように、福岡都市圏をはじめ県内外の都市とを結ぶ交流軸の整備が進むこの時を絶好の機会と捉え、本市の観光や特産品の魅力を、市内外に存分に発信し、多くの観光客の来訪によるにぎわいの創出を図りたいと考えています。

市街地においては、伊万里津の陶器商家の名残のある建物などが多数残されています。既存の建物の価値を再認識し、新たな用途での活用を図るリノベーションの手法の活用により、本市でも中心市街地の新たな魅力づくりとして、積極的に支援してまいりたいと考えております。

地域の自立的で持続的なまちづくり活動の支援として、波多津町では拠点となる施設としてコミュニティセンターが完成します。また、市内で2例目となる地域のコミュニティ運営協議会による地域バスの運行が、大川町で始まりました。このような市民生活に必要な機能を集約・確保し、住み続けられる地域を目指す地域の自発的なまちづくり活動については、各町のニーズに対応したきめ細かな支援に取り組んでまいります。

本市の活力向上の鍵を握るのは、雇用の確保であると考えております。このため、事務系企業の誘致の受け皿となるオフィススペースの提供や製造業の立地の受け皿として、松浦町に伊万里東部工業団地の造成を進めており、若者や女性が働くことができる企業の誘致につなげてまいります。

新年を迎え、決意を新たに、伊万里市ならではの個性や魅力を活かした取り組みを一步ずつ着実に進めていくことにより、市民の皆様が生き生きと笑顔で暮らすことができる伊万里市づくりに、市民の皆様とともに、伊万里市全体で一丸となつて取り組んでまいりますので、なお一層のご協力を心からお願いいたします。

# 生き生きと笑顔あふれる

※ 背景写真はドローン（小型無人航空機）により撮影